

食生活改善功労者厚生労働大臣表彰などの報告のための表敬訪問

令和8年3月19日



写真1) 令和8年3月19日（木曜日）表敬訪問での記念撮影

飯能市食生活改善推進員協議会（以下、飯能市食改という）の会長小島啓子氏が令和7年度栄養関係功労者（食生活改善事業功労者）厚生労働大臣表彰と第55回埼玉県健康づくりのつどいにて食生活改善功労者感謝状を受賞し、その報告に表敬訪問をしました。

小島啓子氏は昭和61年に飯能市食改に入会し、推進員として生活習慣改善啓発活動に長年注力されてきました。平成26年には所属する「飯能北支部」の支部長と飯能市食改全体としての会長となり、そこから10年以上北支部長及び会長を重任されています。



写真 2) 笑顔で歓談する小島啓子氏

表敬訪問では、これまでの活動を振り返り、近年の生活リズムの変化と食生活改善の重要性についてご歓談いただきました。

特に、「減塩」が 40 年の活動の中で世間の認知向上や実際の食塩摂取量減少につながってきたがもう一押しである、と述懐されます。

まだまだ、塩辛い食品・料理・味付けを好む人が多く、まずは家庭から減塩へ慣れ親しんでいくことが重要であることをご自身のご家庭での実践をもとに語っていただきました。

それ以外にも様々な啓発への模索を続ける深い洞察を垣間見られた歓談でした。

最後に食改の会員数減少にも触れられました。だんだんと高齢化が進み、若手の入会も少なくなっているそうです。

ご自身も仕事をしながら畑の世話や様々な団体に籍を置き、会長及び支部長としても責務を全うした活動をしています。令和 8 年度は新たな推進員入会のための工夫をしていきたいと意気込みを語りました。